

## 佐久市子ども未来館リニューアル検討委員会 議事録

日時：平成 28 年 12 月 20 日（火）

14:00～16:00

場所：佐久平交流センター 第 2 会議室

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

この会議は、子どもの未来を考える意義ある会議と思っていますので、楽しく活発な議論をお願いします。

### 3 部長あいさつ

平成 29 年 1 月 14 日土曜日に佐久市子ども未来館名誉館長の就任記念として油井亀美也宇宙飛行士の講演会を開催します。

それでは、2 回目の会議の審議をよろしくお願いいたします。

### 4 協議事項（議長：委員長）

#### （1）佐久市子ども未来館のあるべき姿報告書について

##### 【事務局】

資料 1-1 により説明。

1 ページ目にリニューアルの進め方の基本的な流れ

平成 28 年度は、4 回の会議を計画しており今年度中にあり方の策定とプラネタリウムの具体的な改修内容の検討を予定。

平成 29 年度は、プラネタリウムのリニューアルと展示品のリニューアル内容を検討する予定。

#### 1 現状把握について

「（1）時代社会の傾向」として子ども未来館が扱っている科学などの分野について記載。

①社会状況の変化について、4 点を説明。

②子どもの学習と科学について、4 点を説明。

次に「（2）佐久市子ども未来館の現状」として、

①利用者状況については施設職員が感じている利用者の状況を記載。

前回の会議でご要望のあった月別の入館状況について資料 1-2 を説明。

これらの入館状況を踏まえ、7 点を説明。

②立地（環境）特性として 3 点を説明。

③子ども未来館への要望等として、未来館に寄せられた要望 7 点を説明。

④施設設備の状況－プラネタリウムについて 3 点を説明。

⑤施設整備の状況－展示物について 5 点説明。

⑥施設設備の状況－館全体の課題として 4 点説明。

##### 【質問・意見】

##### 【委員発言】

「時代・社会の傾向」の最後の「科学実験の塾などが増えてきている。」との記載があるが、

どのような事を指しているか？

【事務局】

佐久市の中では特に目立っていないが都会などの傾向として科学実験などを目玉として募集を行っている塾がある。

【委員発言】

大阪の状況ではイメージがわからないのでどんな状況か？

【委員発言】

主に首都圏では、みんなが白衣を着て様々な実験を行う塾が展開され、学習塾が実験教室を取り入れる傾向もある。

佐久市や広域の中では少ないが、プログラミング教室やロボットを作る教室が年々増えている。

【委員発言】

岩村田の商店街でも、科学実験ショーをやっていたり、ロボットを導入したりしている。塾としては、都会では成り立つが田舎ではなかなか難しい。

【委員発言】

体験事業をやると多くの子どもが集まったので、ニーズは高くなっていると思う。

【事務局】

個々の表現はもう少し丁寧な表現を検討します。

【委員発言】

都会では、理科実験教室など増えてきているが、この辺では目立っていないということだと思う。

【細川委員】

地域の利用、未来館の中で行っている「マタニティプラネタリウム」などイベントの利用状況のデータはあるか？

【事務局】

集計してあるものについては、次回提出。

マタニティプラネタリウムの参加者は80～100人、初めてのプラネタリウムは100人を超える参加者があった。

【委員発言】

2ページ②の2点目「子どもたちの理解の限界を超えており、科学は難解で近づきたいという印象が定着」とあるが「定着」の表現に違和感がある。

【委員発言】

「定着」と言ういい方は強い感じがする。

【委員発言】

「傾向がある」が良いと思う。

【事務局】

表現を工夫します。

【委員発言】

キッズルームの集計はあるか？

【事務局】

キッズルームは25年から始めていて、4歳未満の入館者数が1月から増えているため、影響

はあると考えられます。

**【委員発言】**

「キッズルーム」とか「初めてのプラネタリウム」ですとか「実験教室」とか非常に努力されて頑張っている部分があるので、記載に加え、頑張っているが限界があるため改修するという流れと思う。

**【事務局】**

年間を通じて開催して欲しいと要望はあるが、企画展を開催する都合上期間に制限がある。

**【委員発言】**

プラスの側面も記載してもらえればと思います。また、「幼児が体験できる」とか「体験型のワークショップ」など「体験」と言うことが未来館に対する要望の中で多く出ているので、体験できる場所とかは確保できていますか？

**【事務局】**

キッズルームは、小さく年間を通じて開催している。後は小さいお子さんが遊ぶ場所もありますが、企画展示室を利用してキッズルームを開催すると多くの幼児が来場がある。

**【委員発言】**

体験の場所を広げようとする現状では難しいと言うことで、こういう部分を記載しておく、後でポイントとなるかもしれないと思います。体験を求める声が多い気がしますので、体験しやすい環境づくりが出来ればよいと思います。

次に、この現状を踏まえてリニューアルの方向性とコンセプトについて説明をお願いします。

## 2 リニューアルの方向性とコンセプト（案）について

**【事務局】**

(1) リニューアルの前提として設置条例・展示の基本方針・展示構成は、変更せずに実施して行きたい。

4点目のリニューアルの検討範囲は、プラネタリウムと展示について基金を活用した範囲でリニューアルを行う。

(2) リニューアルの方向性として、

①ターゲットは小学校の中学年から高学年とし、サブターゲットは、幼児とその保護者を含めた人たちがサブターゲット。

②扱う分野は、7つのテーマを全般的に扱いつつ、特に油井亀美也宇宙飛行士が名誉館長に就任していることや臼田スタードーム・臼田宇宙空間観測所などあることから宇宙や天文に関するウェイトが高くなると思う。

③施設の役割について3点目説明。

(3) リニューアルコンセプト（案）としてこれまで説明をイメージしました。

**【質問・意見】**

**【委員発言】**

現状をでは、学校利用として中学年から高学年が利用、土日の家族は低学年や幼児を含んだ家族が多くなる。

**【委員発言】**

単純な質問になりますが、子ども未来館を福祉部が所管しているのは何故ですか？

【事務局】

21世紀を迎え、これからは子どもの時代であるという考えの基「子ども未来館」の建設が決まり、この施設は「科学館」ではなく、遊びを取り入れた科学を学ぶ入口の施設として児童厚生施設の位置づけの「子ども未来館」として整備されたため、福祉部が所管。

【委員発言】

科学館に「キッズルーム」や、「授乳室」は珍しいケースだと思う。科学を追及して行くと予算はとても足りないと感じて、「キッズルーム」や「授乳室」は資源であり、キーワードになる気がする。

科学に興味を持つきっかけを作る入り口として、様々な体験できるような場所にする事で佐久の未来館の意味があるように思う。

子ども未来館が地域に対して及ぼす影響は大きいと思う。

【委員発言】

小学校3年～6年をターゲットとすると、その下の幼児は予備軍になるためたーげとに含めた方が良い。

学校で利用する場合の滞在時間はどれくらいか？

【委員発言】

短い場合は、45分～50分、長ければ4時間程度利用する。

【委員発言】

もう少し、飲食できる場所があると滞在時間が伸びると思う。

親子連れで来館した場合は、どれくらいの滞在時間になるか？

【委員発言】

イベントだけの参加で帰る場合や、再入場でお昼を取って1日過ごす人もいる。

【委員発言】

幼児のフォーカスは将来の参加に繋がると思う。

【委員発言】

プラネタリウムもコンテンツ次第だと思います。

【委員発言】

現在の展示については時代が止まってしまっている感がある。何年か毎に更新して行けるようなシステムにすることも必要ではないか。寒い場所の暖房を改善するとかも必要と思う。

来館者がわくわくするような展示が出来るような仕組みを考えてもらいたい。

【委員発言】

星空は四季がある。春・夏・秋・冬と違っているので館内も四季があれば1年の内に4回来てもらえるとか、プラネタリウムを変えると言うことですので星空に併せて工夫できればよい。

【委員発言】

遊興施設は、コンセプトで進めていくので実際にうまく運営している施設については、民間がノウハウを持っているので参考にすれば良い。

【委員発言】

全国の施設を見渡して、科学館と子育て支援施設の両立をしている参考事例はありますか。

**【事務局】**

科学でもなく児童館でもなく「創造館」と言う科学展示もあり美術教育や自分で何かを創るような施設が増えてきていると思う。

内容的には、学校の授業として利用されることを考えると、展示している内容と教育員会が考える授業内容との調整が出来ているところが上手くいっている。

年齢が異なっても上手くやっている施設は、展示プラス活動室のような場所があると思う。

**【委員発言】**

一番集客を確実にできるのは、3年生～6年生がプラネタリウムを利用した時に良かったと思いい、子供が親とまた来てみたくなるような集客を行っていく事が大切になると思う。

プラネタリウムの内容を定期的にリニューアルすることが一番確実な集客になると思う。

乳幼児向けの企画をお母さんたちの意見を聞いて立案して行く。

中学高校生が、科学クラブのようなものを作って、小さな子どもたちと一緒に実験をすることなども必要と思う。

スマホなどのメディアに害されてしまう風潮を考える活動をしているが、一方でスマホは、非常に便利なものなので、よい活用方法やプログラミングを学べる場所もあっていいかと思う。

**【委員発言】**

今は星が見えにくくなっているのでプラネタリウムの存在は大事だと思う。

**【委員発言】**

星空に四季があるということで、市に臼田スタードームがあるので、実際に生で撮影した映像を活かしていくことも一つの方法だと思う。

**【委員発言】**

きっかけづくりのプラネタリウムになるといいと思います。

**【委員発言】**

コンセプトをしっかりとって、そのコンセプトに対して佐久はこれでしょうと言うような提案をもらうことが良いと思う。外から見た方が良さが見える場合もあると思う。

**【委員発言】**

「佐久」と言うのが一つの視点で、なぜ佐久かというのが必要と思う。

**【委員発言】**

最近、隠れ家のような場所がなくなっている、実際に触れることが出来る仕掛けがあったらよいと思う。

**【委員発言】**

実際は、コンセプトを立ててデザインはできるが、実際に遊ぶ遊具の開発が一番難しいと思う。

**【委員発言】**

様々な意見が出たが、女性やお母さんの視点が欠けている気がするので、意見を聞ける場面があるといいと思う。

**【事務局】**

女性の意見を入れる場面を考えます。

(2) 佐久市子ども未来館の愛称について

【事務局】

コンセプトを議論していただく中で議論することとし、次回の検討課題とします。

(3) その他

【事務局】

年度内に後2回会議を予定について連絡。

5 閉会